

改善箇所説明図



車両下部の遮音コーティング剤において、コーティング剤の混合比及び塗付量が不適切なため、コーティング剤が一部箇所において氷柱状になっているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、車両振動等により燃料配管と接触し、燃料配管を損傷することにより燃料漏れを起こし、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、車両下部の遮音コーティング剤を点検し、該当する場合は遮音剤の一部を修正する。またコーティング剤と燃料配管が接触した痕跡がある場合は、当該部位の燃料配管を新品と交換する。

識別

右側ドアヒンジ部へ黄色ペイントを塗布する。

注： は不具合部品を示す。